

No.958
January 2018

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-240-7126
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
平成29年11月末現在
男 16,568人
女 16,477人
総人口 33,045人
世帯数 13,005世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の情報発信中!!



●町公式ホームページ

<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>



●町公式ツイッター

<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>



●町公式インスタグラム

https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.65 オシドリ

(カモ目カモ科)

学名 *Aix galericulata*

写真・文 山口 萬壽美

▼冬鳥を楽しむ
今冬もムラサキシキブやカキの木に、ジョウビタキがシベリアからやって来ました。また、10月中旬には、涸沼へカモ科のスズガモが数千羽渡来したのを確認しました。

さらに、久しぶりにオシドリのつがいを見つけてきました。アジアでは、オシドリが特別な鳥とされ「お釈迦さまの前世の姿だ。」と説いた方もいました。孔子は「貞節と夫婦愛の象徴」と崇め、日本では古来よりこの鳥を愛おしい鳥として愛でてきました。

▼主な特徴
全長42cm、頭は扁平

で後頭が冠羽です。頭上は暗緑色で、光によって栗色に見えます。また、頬の羽は長くて栗色であり、胸は紫色を帯びた褐色であるのが特徴。側胸に黒と白の帯が2本ずつあります。三列風切りの1枚がオレンジ色で、帆のようにたつ「銀杏羽」となっています。赤いくちばしの先端は白く、足はオレンジ色。写真家の福田俊司氏は、ロシアで多くのオシドリの姿を撮影し、「世界で一番美しい鳥だ。」と言いました。

▼分布
中国東北部、朝鮮半島沿岸、サハリン、日本などに分布し、山間の湖沼や溪流を好みます。

す。冬季は平地の湖沼や公園などへ飛来、冬から春にかけてつがい形成し、6月頃繁殖します。雌が抱卵する中頃につがいを解消します。雄は単独あるいは群れで過ごし、秋になると再び雄と雌の仲の良い群れが見られます。

▼涸沼の自然を守る
今後も多くの人が涸沼に親しむために、生物多様性の環境育成と保全に励んでほしいと思います。

そして、オオワシやミサゴ、オシドリ等がやって来る涸沼の環境を、後世に残していきたいものです。

ちびっ子アート ウィステリアナーサリースクール



「おおきな
きりんがいたよ」
おがわ ひなた(6歳)



「おともだちと
ぞうをみたよ」
なかじま れん(6歳)

